

横浜市教育委員会 臨時会会議録

- 1 日 時 平成21年12月22日（火）午前10時00分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席委員 今田委員長 小濱委員 吉備委員
中里委員 野木委員 田村委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教 育 委 員 会 臨 時 会 議 事 日 程

平成21年12月22日（火）午前10時00分

- 1 会議録の承認
- 2 教育長一般報告・その他報告事項
第8期横浜市生涯学習推進会議提言について ほか
- 3 審議案件
教委第48号議案 横浜市立小学校及び横浜市立中学校の通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する規則の一部改正について
教委第49号議案 学校運営協議会を設置する学校の指定について
教委第50号議案 学校運営協議会委員の任命について
教委第51号議案 横浜市学校保健審議会委員の任命について
- 4 その他

[開会時刻：午前10時00分]

～傍聴人入室～

今田委員長

ただいまから、教育委員会臨時会を開催いたします。
はじめに、会議録の承認を行います。前回、平成21年12月8日の会議録署名者は小濱委員と吉備委員です。会議録につきましては、すでにお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

今田委員長

それでは、承認いたします。なお、字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。次に、議事日程に従い、教育長から一般報告をお願いします。

田村教育長

【教育長一般報告】

1 市会関係

- 12/11 本会議（第3日）議案議決

2 市教委関係

(1) 主な会議等

- 12/ 8 小中一貫教育推進フォーラム（港南公会堂）
- 12/15 市長学校訪問
（中村特別支援学校、港南台ひの特別支援学校）
- 12/16 武相高等学校サッカー一部市長表敬訪問
- 12/17 市長学校訪問（潮田中学校、豊岡小学校）
- 12/17 よこはま学校評価シンポジウム（教育文化ホール）
- 12/18 県教育功労者表彰式（県庁）

(2) 報告事項

- 第8期横浜市生涯学習推進会議提言について
- 平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（速報）
について
- 金沢高等学校と横浜市立大学の「高大連携事業」について
- 「よこはま学校評価シンポジウム」の開催について

3 その他

今田委員長

教育長の報告が終了しましたが、ご質問等ございますか。
特にご質問等がなければ、先程、教育長より、別途所管課から説明とありました「第8期横浜市生涯学習推進会議提言」について説明をお願いします。

鹿嶋生涯学習
部長
福島生涯学習
課長

【「第8期横浜市生涯学習推進会議提言」について説明】

今田委員長	所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。説明のなかった別紙の資料はどのような資料ですか。
福島生涯学習課長	提言の概要をまとめたものと、本市の生涯学習推進体制をまとめたものでございます。
田村教育長	生涯学習の関係は、最近影が薄い感じがないわけでもないのですが、資料にありますとおり、横浜市の生涯学習推進本部というのが、副市長をトップとして全区局が課題に取り組むための体制となっております。毎年開催はしておりますが、やや形式化しているようなことも否めないと思います。
	今回このように提言をまとめていただきましたので、これを各局で事業を進めていく上で念頭に入れながら取り組んでいただきたいと思います。ただし、今の時期が来年度の予算の議論が終わっている時期ですので、少しタイミングは良くなかったのですが、生涯学習の推進は教育委員会の2つの柱のうちの一つですから、我々も少し反省しなければならぬと思っております。
今田委員長	学校運営協議会との連携や、おやじの会の方々などとのオフサイトミーティングを開催をすることで、新しい取組の切り口が見つかるのではないのでしょうか。
田村教育長	生涯学習の取組は、都市経営局や市民活力推進局と連携してやっていくことになっていますが、その点まだ十分ではありません。様々な施策の分野に繋がっていくものですので、執行体制なども含めて考えていかなければならないと感じております。
中里委員	大変素晴らしく、わかりやすい資料だと思います。キャリア教育は各校で行っておりますが、現実を捉えてできることから行っていくことが大事だと感じました。学校はとても心配なお子さんを卒業させている現実があります。この提言を各部署でどう生かしていくかが課題だと思います。
小濱委員	資料の4ページに、ニートの数が平成12年が突出して、17年は減っています。失業率が高まっている中で減少しているのは何か理由があるのでしょうか。
福島生涯学習課長	国全体のデータも傾向は同じでございます。国勢調査の調査の仕方が確実に実態を把握しているのかという部分にもやや疑問があるのではと感じています。
野木委員	平成12年は非常に不況であったと思います。第3章の現状の課題と解決に向けての考え方ですが、ここには教育に関するところが基本的に書かれています。もっと民間の委員も入れて、民間の受け皿をつくっていくことを考えないといけないと思います。私は、神奈川県情報サービス産業協会の副会長もしているのですが、IT業界の雇用を促進するために、エコールIT横浜という取組の中で半年間じっくりと教育を行い、5年間で300人ぐらいを卒業させ、ほとんどの方が就職してきました。受入企業も減ってきているのですが、そういった活動を増やしていくことが大事だと思います。

小濱委員 19ページの名簿を見ますと、民間の方も多く入っていると思います。

田村教育長 実際の取組に必要な視点だと思います。

吉備委員 日々若年層の求職者と接していますが、その中で感じることは、かなり職業選択に関して好みがある方が多いと感じます。本当に職が無くて失業者かということは、かつての失業者が多かったときと比べると数字だけでは何とも言えないと思います。また、若年層の求職者と接して感じることは、義務教育の期間にきちんと学校でルールについて学んできていない感じがします。時間のルールや決められた規則を守ること、課題をきちんと提出することなど、学校できちんと学んでいない中で就職にも繋がっていないのではないかと感じます。そして、やりたくないことはやらなくてよいということが身に付いている傾向が見られます。仕事を辞められる時に保護者からお断りの連絡が入ることも多いです。

委員名簿を拝見しまして、日々求職者と接しているのは人材会社やハローワークの方々だと思います。そのような方が委員として入ってこないのかと疑問をもちました。

田村教育長 キャリア教育で正しい職業観であるとか、勤労観であるようなことを、子どもたちにしっかりと身につけさせることが必要ということで力を入れているわけですが、吉備委員のご発言はそれが現状では心許ない、頼りないということではないかと思えます。学校におけるキャリア教育のあり方そのものについて、自分の夢を叶えるということだけが、ひたすら強調されていることがあるのかもしれないかもしれません。もう少し、社会に出て行く時の基本的な心構えを、この中でもっとしっかりとやっていくことを考えるべきだと思います。先ほどのニートのことについても、これまでずっと取り組んできた結果が現状であるということだと思いますが、そのあり方も含めて考える時期であるのかと思えます。

学校の中では、社会生活のルールをしっかりと身につけさせようということが急速に広がっておりまして、掃除の取組もそれにあたると思うのですが、それから横浜の学校のスタンダードというものを作りまして、下駄箱の靴をしっかりと揃えることや、あいさつをすることが有効であるということで、取り組みを積極的に進めている学校がありますので、それを奨励したりしていくことが大切だと思います。

鹿嶋生涯学習部長 先ほどの求職関係の方も必要だというお話ですが、民間からリクルートワークス研究所の연구원の方や、関連のNPOからユースポート横浜の方にもご意見を伺っております。今後、施策を進めていく中では、公共の方々のご意見も頂いていこうと思えます。

また、議論していく中で、社会の壁と自分の壁があるのではないかという意見が出され、社会の壁を取り払うことも大切だが、まず自分の壁を取り払うことが大事であるというご意見がありました。そのためには、生きていくための武器を備えていくべきであり、そのために生涯にわたる学習が必要だというご意見もございました。そのような面も含めて行政側でも支援がしていければよいなと考えております。

小濱委員	資料11ページの取組内容2については、表現がやや抽象的ではないかと思えます。例えば小学校ではどのようなキャリア教育を行っていくのかということ。以前、私の書いた本の中で、小学校の高学年から中学生にかけて、実際の就労体験をもっとさせたほうがよいという提言をしたことがあります。高学年ぐらいになれば、多少の就労体験をさせた方が子どもたちに実感をもたせる意味で大事なことはないかということをおし上げておきたいと思えます。
漆間学校教育部長	現在でも、全中学校で職業体験を採り入れることを進めております。期間は1日から5日間ぐらいでございます。近隣の事業所やお店等で職業体験を行っております。
今田委員長	他にご質問等がなければ、次に、「平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（速報）」について説明をお願いします。
漆間学校教育部長 入内嶋小中学校教育課長	【「平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（速報）」について説明】
今田委員長	所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。
野木委員	横浜市の結果は少しずつ上がっていますが、施策として有効であったと考えられるものは何でしょうか。
入内嶋小中学校教育課長	例えば、シャトルランについては今回2回目なのですが、6年生が1年生の面倒を見ながら行うということもございます。このようなことからやり方が上手になり、慣れてきたということがあると思えます。 施策につきましては、「体力向上推進拠点校」を本年度26校設置しておりますが、各校の取組の良さを紹介していることが一点あると思えます。本年度、新たに「朝の学校施設を利用した体力向上モデル校」を設置して、地域やボランティアの方の力を借りながら今後進めていきたいと思っております。本年度は9校設置しておりますが、今後もこれらの取組を推進していくことが大切だと考えております。
田村教育長	国の結果も昭和60年頃をピークにずっと下がっています。国の教育振興計画でもそのピーク時に戻していくべきとされています。横浜市も個別の事業は行っておりますが、全体計画の中で体力についても、ぜひ次の計画の中に目標値を掲げて取り組んでいきたいと思えます。 ただし、国の事業仕分けの中では、全校で行う必要はないとされていますが、全員がやることで効果がはっきり検証できることがありますので、相談しながら工夫して行っていこうと思えます。
今田委員長	小学校6年と中学校3年で行う学力調査では、学習習慣についても調査があり、体力調査は、小学校5年生と中学校2年生で行われているということですね。
田村教育長	はい。ただし、国はこの調査も抽出式にしようという動きがありません。

中里委員

先ほどのニートの話と体力の話は共通していると思います。基本的な生活習慣がきちんと身につくこと、太陽が出ている時間に生き生きと動くということが、将来働く活力になるのだと思います。学校の取組としても取り組めるところがたくさんあると思います。中学校では部活動の役割が高いと思いますし、小学校でもサッカーや野球など学校独自に朝や放課後に取り組んでいるところが増えてきています。

一方で、中学校では運動部の指導者の問題が、教員の高齢化とともに非常に切実です。地域の人材も時間がとれる方がそんなにいるものではありません。中学校ではこれらが課題であると思います。

吉備委員

小学校におきまして、高学年のお子さんになりますと、はまっ子ふれあいスクールに登録していないお子さんが大半になると思うのですが、登録していない子に対して、グラウンドに残っていないで早く帰りなさいと学校では言われます。放課後に関してはこども青少年局の所管になるので、学校で何かあっても私たちは責任がとれないからとはっきり言われる先生もいらっしゃいます。これは行政の縦割りからくる問題だと思います。

かつてのように、家にランドセルを置いて、すぐに外に遊びに行くということが本当に少なくなってきました。子どもが走っている姿は学校の廊下でしか見られなくなっている中で、せめて学校で放課後ぐらいは自由に走り回れるような、室内型のはまっ子でない、屋外型のはまっ子をこども青少年局と協議していただき、学校で放課後遊べるような施策はできないでしょうか。

それから、調査項目にソフトボール投げがありますが、昨今野球人気が下火になる中で、この測定値がどこまで有効なのかと思っています。

また、姿勢に対する指導が十分でないのではと感じております。立ち歩きや授業中座ってられないお子さんが多い中に、姿勢良く座っていることすらできない筋力がないというところがあるのではないかと思います。日頃の何でもない姿勢を正すということの中で、腹筋や背筋が鍛えられることにつながるのではないのでしょうか。

入内嶋小中学校
教育課長

教室での座り方や体育においても姿勢よく立つことや歩き方の指導などがあります。良い姿勢であると運動能力も伸びるとも言われていますので、今後も指導していかねばならないと思っています。

ソフトボール投げにつきましては、新体力テストの一つの項目となっております。ソフトボール投げは明らかに二極化していると言われております。経験のある子とない子での差が大きいと言われております。今後、研究の必要があるかと思っています。

放課後の問題につきましては、下校時の不審者の問題への対応の中で委員ご指摘のような状況があることは確かです。一方で、学校によっては何時までという約束を決めている学校も出てきております。小中学校教育課として取り組める部分と、こども青少年局にお願いする部分とがございますので、今後、議論させていただきたいと思っています。

漆間学校教育
部長

こども青少年局との連携ということで、話し合いをもつ機会がございますので、その中で話題とすることがございますので、話し合っていきたいと思っています。

中里委員

学校の校庭だけでなく、公園もボール投げやサッカー遊びに規制がかかっているなど、遊び場が取り上げられている感じがします。総合的な取組が必要かと思っています。

今田委員長	他にご質問等がなければ、次に、「金沢高等学校と横浜市立大学の「高大連携事業」」について説明をお願いします。
漆間学校教育部長 木田高等学校教育課長	【金沢高等学校と横浜市立大学の「高大連携事業」について説明】
今田委員長	所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。
田村教育長	金沢高校において、このような取組を進めていくということをご了解いただければと思います。
今田委員長	特にご質問等がなければ、次に、「「よこはま学校評価シンポジウム」の開催」について説明をお願いします。
沼尾教育センター長 大矢授業改善支援課長	【「よこはま学校評価シンポジウム」の開催について説明】
今田委員長	所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。 私から質問しますが、先ほど説明のあった4つの新たな取組について資料にまとめられた方が良かったと思います。
中里委員	12月17日は何人位参加されましたか。
大矢授業改善支援課長	各校1名の参加ということで、全体で480名位の参加がございました。
中里委員	私はこれまでマニフェストという言葉に抵抗がございまして、今回名称を変えられたのは大変良いと思っております。 学校評価につきましては、いろいろな学校の見学させていただいてい る中で、各校若干差が見られます。やらなければならないことをどう行 うかということは、結局は自分の学校のためにどうプラスに転じていく かということだと思います。情報発信もしていただいているとは思いま すが、他校の取組がなかなか広がっていないのが残念と感じていますの で、工夫して今後も進めていたたければと思います。
大矢授業改善支援課長	横浜市学校評価ガイドが平成20年3月にできておりまして、全校で実施するのは今年で2年目になります。これからという部分もござい ます。情報発信につきましては、1月23日の教育実践フォーラムの分科会で具体例の紹介を予定しております。
田村教育長	シンポジウムでの意見はどのようなものがありましたか。

大矢授業改善 支援課長	時間の都合で、会場で意見をお聞きすることができませんでした。アンケートをとっておりました、参加者の約3分の1の方から回答をいただきました。その中では、「中期学校経営方針という3年間の計画、年度ごとに立てる学校経営計画、学校評価との結びつきについて良く理解できた」というご意見などがありました。 また、今回様式をA4判2ページに統一いたしましたので、各校に通知していきたいと思っております。
今田委員長	他にご質問等がなければ、議事日程に従い、審議案件に移ります。まず、会議の非公開について、お諮りします。教委第50号議案「学校運営協議会委員の任命について」、及び第51号議案「横浜市学校保健審議会委員の任命について」は、人事案件のため、非公開としてよろしいでしょうか。
各委員	< 了 承 >
今田委員長	それでは、教委第50号議案・第51号議案は非公開といたします。審議に入る前に事務局に確認ですが、何か報告事項はありますか。
高橋総務課長	12月21日、個人1名から、山内図書館の指定管理者の指名案件に関する情報の提供等に関する請願書の再回答を求める請願書が提出されました。本請願書につきましては、教育長に委任する事務等に関する規則第4条の規定に基づき、教育長専決により、回答させていただきます。 次回の教育委員会定例会については、1月12日、火曜日の午前10時から開催いたしますので、よろしく申し上げます。
今田委員長	皆さん、よろしいでしょうか。それでは、次回の教育委員会定例会は、1月12日火曜日の午前10時から開催することとします。 それでは審議に移ります。審議の順番ですが、まず公開案件の審議を行い、次に非公開案件の審議を行うこととします。それでは、教委第48号議案「横浜市立小学校及び横浜市立中学校の通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する規則の一部改正」について説明をお願いします。
小野施設担当 部長 小菅学校再編 担当課長	【教委第48号議案「横浜市立小学校及び横浜市立中学校の通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する規則の一部改正」について】
今田委員長	所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。
野木委員	学区が変更される区域から通われている方は、どうなるのでしょうか。
内田総務部長	新規に開発されている地域で、現在の指定校に通われている方はおりません。
今田委員長	他にご質問等なければ、原案のとおり、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

今田委員長

それでは、原案のとおり承認します。
次に、教委第49号議案「学校運営協議会を設置する学校の指定」について説明をお願いします。

漆間学校教育
部長
吉富教育改革
推進担当課長

【教委第49号議案「学校運営協議会を設置する学校の指定」について】

今田委員長

所管課から説明が終了しましたが、ご質問等ございますか。
私から質問しますが、今回の指定であわせて何校になりますか。

吉富教育改革
推進担当課長

36校になります。

今田委員長

学校運営協議会ができてよかった、こういう面で助かっているとか、
こういう工夫が必要だというような声はありますか。

吉富教育改革
推進担当課長

設置後、ある程度年数が経過していますのは、東山田中学校1校でござ
いまして、次に設置された学校が昨年1月でございます。従いまして2
年、3年やってどうだったということは言えないのですが、昔のまち懇
（『まち』とともに歩む学校づくり懇話会）の時と比べると地域の協力が
得やすくなった、学校から働きかけるよりも地域の方から学校に集
まってくださって支援をしてくださっているという声は聞いておりま
す。

小濱委員

都岡中学校の資料の2のねらいの中には、個別具体的なことが記載され
ていますが、これは都岡中学校の固有の課題を抱えているということだ
でしょうか。

漆間学校教育
部長

全体的に中学校はこの2つの要因をある程度抱えていると思います。都
岡中学校の場合は、校長の認識がこの部分に表れているということだ
と思います。

小濱委員

他にもこれらの課題の解決が急務であるとお考えの学校は多いので
でしょうか。

漆間学校教育
部長

一般的に学校が落ち着かなくなるというのは、この2つの要因があると
言われておりますが、特に今大変困ってきているという声は出てきてお
りません。

吉備委員

設置校36校のうち、以前あった組織を集約して学校運営協議会を設
置した学校はどのぐらいありますか。

吉富教育改革推進担当課長 校数の分析はしておりませんが、集約した学校と、集約せずにそのままにしている学校と両方ございます。同じ委員が複数の組織に就任していると、それぞれの会合に出にくくなっているという課題はございます。

漆間学校教育部長 まち懇（『まち』とともに歩む学校づくり懇話会）や学校評議員など整理ができるものと、そうでないものがございます。

今田委員長 学校運営協議会の成果が出てくると、既存の委員会のようなものも、運営協議会に肩代わりしてもらおうという動きがあると思います。

漆間学校教育部長 例えば「おやじの会」が学校運営協議会の1つの組織とするかどうか、組織の構造化・再編は今後進んでいくものと思われま

今田委員長 法律の規定を踏まえますと、学校運営協議会が最も力を発揮する位置づけになっていますから、既存のまち懇（『まち』とともに歩む学校づくり懇話会）が発展して学校運営協議会になっているところが多いのではないですか。

漆間学校教育部長 はい、発展的に解消しているということになると思います。

今田委員長 他にご質問等なければ、原案のとおり、承認してよろしいでしょうか。

各委員 <了 承>

今田委員長 それでは、原案のとおり承認します。
以上で公開案件の審議が終了しました。その他、委員の皆さんから何かございますか。
特にご発言等なければ、非公開案件の審議に移ります。傍聴の方はご退席願います。また、関係部長以外の方もご退席ください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

<削 除>

今田委員長 これで、本日の教育委員会臨時会を閉会といたします。

[閉会時刻：午後0時0分]